

社会科学習指導案

2019年6月7日（金）

I 単 元 わたしたちの前橋市

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

前橋市の地理的環境の概要についての理解と現場学習や地形図、交通図などで調べ、まとめる技能

②思考力、判断力、表現力等

前橋市の様子について、場所ごとの様子を比較したり、土地利用の様子と地形や交通の様子などを関連付けたりして、場所による様子の違いを考え、表現する力

③学びに向かう力、人間性等

前橋市に関する問題を主体的に調査し、解決しようとする態度
地域社会の一員としての自覚と愛情

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。

(3) 単元の価値

本単元は、前橋市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がりに着目して市の様子を捉え、場所による様子の違いを考える学習である。その価値は以下のとおりである。

群馬県中部に位置する前橋市は、赤城山を北端とし、南側に向かって徐々になだらかで平坦な土地となっている。北部は豊かな自然が広がり、南部は交通網が発達している。西部には行政機関が集中し、東部には畑が多い。このような前橋市の様子について、現場学習で調べることに加え、土地利用の様子と地形や交通の様子などを関連付けながら追究することにより、前橋市の地理的環境の概要について実感的に捉えられる。また、北部では赤城山の自然を活かした畑や畜舎が多く、南部には北関東自動車道の前橋南ICの開通に伴い、工業団地や大型店舗が集中している。このような対照的な地理的環境をもつ地域を比較し、その特色を明らかにすることにより、場所による様子の違いは交通などの社会的条件や地形などの自然的条件に起因するという、社会的事象を捉える上で転移可能な概念等に関わる知識をより確かにできる。そして、現場学習を行い市の様子を調べたり、他地域の人に知らせたいことや自分なりの発見を基に、市の案内図を作製し

たりすることは、前橋市民の一員としての自覚と愛情を培うことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「きゅうりづくり農家をたんけんしよう」で、仕事の種類や仕事の行程などに着目して、きゅうりづくりに携わる人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、3年「学校のまわりたんけんたい」において、学校周辺の土地利用の様子や建物の様子、交通の様子に着目して、学校周辺の様子を捉え、学校を中心とした方位ごとの場所による違いや二つの通りの様子の違いを考える学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 学校周辺の地理的環境を大まかに理解している。このような子どもたちが、市の地理的環境を大まかに理解できるように、調べた事実と異なる視点から見た事実を示す資料として、市内諸地域の航空写真や関東圏の高速道路の延伸を表す地図を用意する。また、観察によって学校周辺の様子を調べ、分かったことを白地図にまとめたり、地図から土地利用の様子を読み取ったりできるようになってきている。このような子どもたちが、地図と観察の情報を対応させて諸地域の様子を調べ、分かったことを白地図にまとめたり、地図から土地利用の様子や交通の様子を読み取ったりできるように、現場学習で前橋市の様子を観察する活動を設定する。
- ② 学校周辺の二つの通りの様子の違いについて、交通や土地利用の様子を比較して考えられるようになってきた。このような子どもたちが、諸地域の様子の違いについて、学校周辺や諸地域の地形や、建物や交通の様子と比較したり、関連付けたりして考えられるように、土地の高さや交通の広がりなどの調べた事実や既有知識を整理することを支援する学習プリントを用意する。
- ③ 学校周辺の地理的環境に疑問や調べたいことをもち、問題を主体的に追究できるようになってきている。このような子どもたちが、市の地理的環境に疑問や調べたいことをもち、問題を主体的に追究できるように、調べる内容や予想、調べる方法を一覧表にした学習計画表を作成する活動を設定する。また、市民の一員としての自覚と愛情を培えるように、諸地域ごとの様子に加え、調べて驚いたこと、発見したことをまとめた市の案内図を作る活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習（10／13時間目）

- 1 ねらい 前橋市南部の土地利用の様子を調べ、北部の様子と比較したり、地形や交通の広がりに関連付けたりすることを通して、南部は他地域との交通の利便性によって人や物が行き来しやすい場所であることを理解する。
- 2 準備 二次元表を用いた学習プリント 前橋市の地図 北部と南部の写真
前橋市から関東圏への高速道路の延伸を表す地図 学習計画表
- 3 展開

学習活動と子どもの意識

指導上の留意点

<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は前橋市南部の様子を明らかにするのだな。現場学習では、北部よりにぎやかだったことを覚えているよ。 	<p>○前橋市南部の地理的環境の特色を現場学習で調べたことを基に明らかにするという本時の学習の見通しをもてるように、学習計画表を提示し、本時に追究する内容を問いかける。</p>
<p>めあて「前橋市の南部は、どのような様子なのか明らかにしよう。」</p>	
<p>2 南部の土地利用の様子を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部には、大きな店や田、工業団地がたくさんあったね。大きな道路もあったね。 ・地図上で見ると、市内の工業団地のほとんどは南部にあることが分かるよ。 ・なぜ、工業団地は広い土地がある北部にはなくて、南部にたくさんあるのかな。 <p>3 工業団地が南部に集中している理由を調べた事実を整理しながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部は北部と比べると土地が低くて平らだから工場を建てやすいのだと思うよ。 ・なるほど。北部と比べると大きな道路があるね。道路が多いと働く人が集まるから工業団地ができるのではないかな。 ・高速道路は東京まで繋がっているね。そうか。トラックが高速道路で遠くから材料を運んで来たり、製品を運び出したりしやすいから工業団地が集まるのだな。 ・工業団地がたくさんある市の南部は、大きな道路で他の地域と繋がっていて、人や物が行き来しやすい場所と言えるね。 ・地形や交通の違いで、建物の種類や場所の様子が大きく変わるのだな。 	<p>○南部の様子を想起できるように、現場学習で撮影した南部の建物や交通の写真と地図を提示する。</p> <p>○工業団地が市の南部に集中していることに気付けるように、工業団地を示すシールを地図に貼付するよう促す。</p> <p>○工業団地が南部に集中していることに疑問をもてるように、工業に必要な要素を問いかける。</p> <p>○南部と北部の様子を比較し、相違点を見いだせるように、地形と交通の様子について、調べた事実を整理することを支援する二次元表を提示し、ペアで話し合いながら記入するよう促す。</p> <p>○工業団地が南部に集中している理由を、交通が発達していることと関連付けて考えられるように、「人の移動」の視点を提示する。</p> <p>○人だけでなく「流通」の視点からも南部の地理的環境の特色を捉えられるように、関東圏への高速道路の延伸を表す地図を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">工場が集まる市の南部は、他地域との交通の利便性によって、人や物が行き来しやすい場所であることを記述したり、発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;"><学習プリント・発言①></p> </div>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路があると大きな建物ができやすいと分かったよ。前橋ICの周りに工業団地があることとも理由は同じだね。 ・次は西部と東部の様子进行を明らかにするのだな。住んでいる所だから楽しみだな。 	<p>○南部の地理的環境の特色を明らかにできた成果を実感できるように、「今日始めてわかったこと」の視点を提示し、振り返りを記述するよう促す。</p> <p>○今後の追究への意欲を高められるように、本時に南部の地理的環境の特色を明らかにできたことを称賛し、次時の学習内容を問いかける。</p>

指導と評価の計画（全13時間）

目標	前橋市の様子について地形や土地利用、建物の様子、交通の様子に着目して観察、調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図にまとめ、場所ごとの様子を比較したり、自然的条件や社会的条件と関連付けたりして考え、市の地理的環境について大まかに理解する。			
評価規準	<p>(①知識及び技能)群馬県における前橋市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がりなどを基に、市の地理的環境について大まかに理解している。 観察、調査したり、地図や写真などの資料で市の位置や地形、土地利用、交通の広がりなどを調べたりして、白地図にまとめている。</p> <p>(②思考力、判断力、表現力等)前橋市の様子について、場所ごとの様子を比較したり、土地利用の様子と地形や交通の様子などを関連付けて、場所による様子の違いを考え、白地図などにまとめたことを基に説明している。</p> <p>(③主体的に学習に取り組む態度)前橋市の様子について関心を持ち、学習問題や予想、学習計画を考え、調査しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○前橋市内の様子に関する疑問や調べたいことを基に学習問題をつかむ。 学習問題 前橋市の様子はどのようになっているのだろう。	○屋上から直接観察できない市内の様子に疑問や調べたいことをもてるように、学校周辺の地図と前橋市の地図を用意する。	◇前橋市内の諸地域の様子について、疑問や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	1	○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる地域>・北部・南部・西部・東部 <調べる観点>・地形・土地利用の様子 ・建物の様子・交通の様子	○予想や調べる方法を考えられるように、前橋市を東西南北に大まかに区切った地図と市内の諸地域の写真を用意する。	◇自らの予想や調べる方法を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
追究する	1	○市内の地形や交通の様子を調べ、白地図に整理する。	○市内の地形と交通の様子を大まかに捉えられるように、標高を色分けしたり、河川と交通機関を記入したりする地図を用意する。	◇市域の土地の高さや主な河川と交通機関をを正しく記述している。 <白地図①>
	5	○現場学習をして、諸地域の様子を観点に沿って調査する。	○観察と地図の情報を対応させて諸地域の様子を調査できるように、諸地域ごとの地図を貼付した学習プリントを用意する。	◇諸地域の地形や土地利用、建物、交通の様子を記録している。 <学習プリント①>
	1	○前橋市北部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。	○北部の土地利用の様子と地形を関連付けられるように、「学校周辺との違い」の視点を提示する。	◇畜舎が多い北部は、傾斜や広い土地などの自然を活かした産業が盛んな場所であることを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	1	○前橋市南部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。(本時)	○南部と北部の地形と交通の様子を比較し、相違点を見いだせるように、地形と交通の様子について調べた事実を整理することを支援する二次元表を用意する。	◇工場が集まる南部は、他地域との交通の利便性によって、人や物が行き来しやすい場所であることを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
まとめる	1	○前橋市西部と東部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。	○西部と東部の土地利用や建物の様子と地形や交通の様子とを関連付けられるように、公共施設と畑を貼付できる地図を用意する。	◇高い建物が多い西部は、公共施設が集まる市の中心であること、畑が多い東部は広い土地を活かした場所であることを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	1	○学習問題の結論を話し合う。	○地域ごとの地理的環境を総合できるように、地形や土地利用、建物、交通の様子をまとめた白地図と現場学習の写真を提示する。	◇前橋市には、地形や交通の様子の違いによって、様々な様子の異なる場所や大きさの異なる建物があることを記述している。 <学習プリント②>
	1	○前橋市の案内図を作る。	○前橋市の様子について知らせたいことを記入できるように、地図記号や絵、コメントを書き込める地図を用意する。	◇学習したことを基に、前橋市の様子について知らせたいことや自分なりの発見を記述している。 <案内図③>